

<b>固体化学</b> (Solid State Chemistry)	4 年・前期・2 学修単位 ( $\alpha$ )・必修 物質化学工学科・担当 片倉 勝己	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標 (2)		
<p><b>〔教育方法等〕</b>  <b>概要：</b>          対称性について教授した後、結晶構造の分類や三次元周期構造について概説したのち X 線回折法の原理と解析法について教授する。また、主たる結晶構造の特徴や用途について具体例を示しながら教授してその理解を深め、固体状態にある物質の性質について考察する。</p> <p><b>授業の進め方と授業内容・方法：</b>          固体構造を物理化学的観点から学習するが、三次元周期構造をイメージだけでなくフーリエ解析等の数学的手法も交えて取り扱う。さらに、近年幅広く利用されている種々の固体材料の有用性とその性質をその構造から理解するための基礎を講義と演習を通じて学習する。</p> <p><b>注意点：</b>  <b>関連科目</b>          構造解析学は、「物理」「物理化学」、「無機化学」における固体の性質や構造と密接に関連する。</p> <p><b>学習指針</b>          「機器分析化学」における重要分野のひとつでもあり、X 線回折法の基礎から応用も含んでいる。数学や物理的な取り扱いを伴うので、その本質を捉えて学習する姿勢が重要である。また、空間や数学への理解も重要である。</p> <p><b>自己学習</b>          理解できなかった項目は次回までに十分復習し、課題を通じて理解を深めること。講義中に指示する次の単元箇所や配布した資料を精読するとともに、数学等の復習も欠かさないこと。</p>		
<p><b>〔教科書〕</b>          「アトキンス物理化学」(上・下巻) 東京化学同人</p> <p><b>〔補助教材・参考書〕</b>          「分子の対称と群論」東京化学同人、「固体物理学入門」丸善 キッテル          「West 固体化学入門」講談社サイエンティフィク A.R. West 訳 遠藤 忠ら          シュライバ無機化学等の専門書や結晶学や固体化学の入門書と数学の教科書も参考にされたい。</p>		
<p><b>〔到達目標〕</b>  <b>前期中間試験：</b>          ①群論の概要とつかんで分子を点群に分類する。          ②分子の対称操作をイメージして、群の掛算表との相互変換ができる。          ③指標表中の直交性を応用して、分子の自由度を判別する。          ④対称性に基づいて結晶系とブラベ格子で結晶を分類できる。          ⑤結晶面とミラー指数の相互変換ができる。 ⑥ブラッグ条件を証明できる。</p> <p><b>前期末試験：</b>          ①X 線回折パターンからブラベ格子と格子定数が算出でき、物質の密度を見積もることができる。          ②代表格子の結晶構造因子を誘導して、系統的消滅則と関連付けができる。          ③格子周期性に基づいたフーリエ解析の意義を理解する。          ④イオン性結晶におけるポーリングの法則が説明できる。          ⑤代表的な結晶構造を説明できる。 ⑥格子欠陥の種類を説明できる。          ⑦機能性結晶材料の代表例と特徴を説明できる。</p>		
<p><b>〔評価割合〕</b>          2 回実施する定期試験の単純平均を 60%、レポートおよび演習課題の提出状況および完成度を評価して 40%加味して総合的に判断する。</p>		

## 授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	ガイダンス 分子の対称性と点群	ガイダンスおよび対称要素と対称操作 様々な分子の対称性と点群（シェーンフリース表記）	
	2 週	群論と点群	群の定義，掛算表，位数，分子の対称操作と掛算表 双極子モーメントとキラル性の判定	
	3 週	群論と点群	群の既約表現と指標表	
	4 週	群論と点群	分子の対称操作と掛算表	
	5 週	群と指標表	指標表の作り方と，指標の直交性	
	6 週	点群の応用	指標表の見方と分子の自由度予想への応用	
	7 週	中間試験	定期試験の解答とベクトルの復習	
	8 週	結晶格子	結合の差による結晶の種類とその特徴 空間格子，結晶系とブラベ格子	
	9 週	ミラー指数と X 線回折	様々な格子の結晶面とそのミラー指数および面間隔 ブラッグ条件と X 線回折	
	10 週	ブラッグ条件と 結晶構造因子	結晶による X 線の散乱とブラッグ条件 X 線回折法とフーリエ解析	
	11 週	X 線回折法の応用	結晶構造因子と消滅則，格子決定と結晶密度	
	12 週	固体結晶の構造	MX 型イオン結晶，MX <sub>2</sub> 型イオン結晶 スピネル，ペロブスカイト，イルメナイト構造等	
	13 週	結晶性固体の 化学結合	ポーリングの法則 (配位数，多面体表記，半径比則)	
	14 週	結晶性固体の 性質と分析法	結晶性固体の電気的性質，分析法（顕微鏡，分光法）	
	15 週	格子欠陥と 機能性結晶材料	ショットキー欠陥とフレンケル欠陥，イオン伝導性 固体結晶の導電性（導体と半導体）	
	16 週	期末試験	授業内容を理解し，試験問題に対して正しく解答することができる。	

\* 4：完全に達成した，3：ほぼ達成した，2：やや達成できた，1：ほとんど達成できなかった，0：まったく達成できなかった。